

3 ロジックモデル

番号	個別施策	番号	施策の効果	番号	目指す姿	
【全圏域】						
A	関係機関との連携によるがん予防やがん検診等の普及啓発活動を推進するとともに、市町村における受診率向上につながる取組みを推進	①	がん予防の周知啓発、効果的な受診勧奨、受診者の立場に立った利便性の高い検診の実施や、がん検診の普及啓発等による受診率の向上	1	がんを知り、がんを予防すること、がん検診による早期発見・早期治療を促す	
		指標	がん検診受診率 ●		指標	がんの年齢調整死亡率(75歳未満)(人口10万対) ●
		指標	喫煙率		指標	がんの年齢調整罹患率(人口10万対) ●
B	生活習慣病検診等管理指導審議会により、科学的根拠に基づいた正しいがん検診が実施されるよう市町村のがん検診の精度管理を実施	②	指針に基づいたがん検診の実施及び精度管理の向上			
指標	精密検査受診率 ●					
C	がん診療連携拠点病院における多職種によるチーム医療を推進	③	がん診療連携拠点病院と地域の医療機関との連携の強化	2	適切な医療を受けられる体制を充実させることで全てのがん患者及びその家族等の療養生活の質の向上を目指す	
		指標	計画策定病院における地域連携診療計画の作成件数			
		指標	地域連携医療機関から計画策定病院への診療情報提供件数		指標	がんの年齢調整死亡率(75歳未満)(人口10万対) 再掲
D	新興感染症発生・まん延時や災害時等の状況においても、必要ながん検診・医療が提供できるよう、がん診療連携拠点病院を中心に体制を構築					
E	がん患者や家族等が必ず一度はがん相談支援センターを訪問することができる体制整備を推進	④	がん患者が必要に応じて確実に支援を受けられるよう、がん相談支援センター等の周知と利用の促進			
		指標	がん相談支援センターにおける相談件数 ●			
F	拠点病院、在宅緩和ケアを担うかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局、訪問看護事業所、介護福祉施設等が情報を共有し、適切な意思決定のもと、患者が望んだ場所で自分らしく安心して過ごせるよう、在宅療養にかかる連携を強化	⑤	がん患者が望んだ場所で過ごすことができるよう、在宅療養支援体制の強化			
		指標	がん患者が在宅医療を受けた件数			

※●は国の重点指標